



平成23年10月

毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。9月の日銀短観は、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)が大手製造業でプラス2と、2期ぶりにプラスに転じました。一方、個人の景況感を示すDIはマイナス62.4と2期連続悪化しています。こんな状況下でも、季節の変化を敏感に感じ取り、気持ちを新たに次のステージを目指していきたいものです。

今月のホット情報

注目の技術!金属粉末レーザー造形機でステンレスの試作モデルを製作



製品と同等の材質・強度でステンレス製の試作モデルを作りたい——そんな時にこそお役立ていただきたいのが、シロクマの保有する金属粉末レーザー造形機「M3」(西独 CONCEPT Laser GmbH製)です。RP(ラピッドプロトタイピング)装置の一つで、弊社が平成18年に日本1号機を導入しました。3D CADデータを利用し、ステンレス(SUS316)の超微細粉末にレーザーを当てて焼結、積層造形していきます。金属製プレートを土台として、その上に積層していくわけですが、完成後に必要な部分をワイヤーカットなどで切り取ります。

金型が不要なので、複雑な形状の試作品でも短納期・低コストでの加工が可能です。例えば切削加工では不可能なアンダーカットのあるものもOK。マイクロ溶接により、ほぼ100%の高密度と高強度を実現。試作モデルだけでなく、小ロットの製品として使用することもできます。この機械は220×210×250

mm(X、Y、Z)程度のサイズの試作品に対応します。

金属粉末レーザー造形はステンレスに限らず、樹脂やダイカストの金型用工具鋼の造形も可能。まだそれほど認知されていませんが、ヨーロッパでは自動車、建材、金型などの業界を中心に実績のある注目の加工技術といえるでしょう。弊社では別のRP装置を使用して、アクリル系樹脂の積層造形モデルも製作しております。詳細につきましては、どうぞお気軽にお問い合わせください。

【金属造形モデル例】

ステンレス



【樹脂造形モデル例】

樹脂

